

入院診療計画書 -経皮的冠動脈インターベンション治療 - (下肢用)

患者様氏名 受け持ち医師: 受け持ち看護師:

_	,	,	,	,	,
月日		T 45 W D (T 45 +4)	T45W D/T45W	T/5/4/1717	/ / // // / / / / / / / / / / / / / / /
項目	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目(退院予定)
達成目標		を理解することができる	・血圧が安定している・・胸部症状がない	- 血圧が安定している - 胸部症状がない	・穿刺部の出血腫脹がない
	・手術後の安静が理解できる		・手術部位からの出血がない ・安静を保持することができる	・手術部位からの出血がない	・薬のコントロールが出来ている
服) ・処置 ・リハビリ	・清潔のため、手術部位の毛を剃ります ・内服薬を確認し薬によっては中止にな	・手術着に着替えて下さい。 ・手から点滴をします。 ・ 血栓予防 のため、弾性ストッキングを検査側の足に履きます。 午前・午後 番目です。	・手術終了後も、点滴があります。 ・帰室後、心電図検査があります。 血圧測定を行い、心電図モニターをつけさせて いただきます。	・手術後より内服薬が変わることがあります。 ・朝の回診で傷の消毒をします。 ・医師の診察後、弾性ストッキングを脱いで 下さい。	・薬の内容に変更があった場合には薬剤師より説明があります。
検査	す。	・手術中は、血圧計、心電図モニターを体に付けます。 ・自分から体を動かすと危険なため、何かあれば 声をかけて下さい。		・症状に応じて、再度レントゲン撮影・心電 図・血液検査などの検査をうけていただくこと があります。	
活動•安静度	・病院内では、特に制限はありません。	・血管造影室へはベッドで移動します。	・止血のため、手術部位におもりを1時間のせます。 ・3時間後、手術部位を下に横向きになれます。 ・6時間後、両側に横向きになれます。	・朝6時からベッドを起こす事ができます。 ・尿の管を抜去後、歩くことができます。 ・正座やあぐらは避け、トイレも洋式を使用して下さい。	・自由に歩くことができます。 ・心臓リハビリは継続して行うようにしましょう。
食事	・常食あるいは治療食です。 ・管理栄養士が栄養管理を行います。また、必要な時には栄養指導を設定いたします。	・午前治療: 朝食半分 摂れます。 ・午後治療(1・2番目): 昼欠食 です。 ・午後治療(3番目): 昼食半分 摂れます。 ・お薬は服用してください。 ・飲水は食事の時間まで可能です。	・飲水は帰室後すぐにできます。・2時間後、食事を寝たまま摂って頂きます。	・2日間は水分を十分取るようにして下さい。	
清潔	・毛を剃った後入浴します。				・シャワーは2日目から入浴は退院翌日からできます。口
排泄		・尿の管を入れます。		・医師の診察後、尿の管を抜去します。	
	・入院申込書. 手術同意書を看護師にお渡しください。 ・入院療養計画について説明します。 ・アレルギーのある方はお知らせください。		・手術終了後、手術結果の説明時間をお知らせします。		・退院後の生活について説明があります。 ・再診日の説明があります。 ・退院療養計画書の説明があります。

上記のスケジュールに沿った入院生活になります。予定変更になる場合がありますので、ご不明な点は遠慮なくお尋ね下さい。

<必要物品> 紙オムツ2枚・経皮的冠動脈形成術同意書

クリニカルパスについて、十分な説明を受けるとともに質問する機会を得ましたので、同意します。

令和 年 月 日

署名

(続柄)

2014年9月1日改訂 2016年6月30日改訂 2022年10月31日改訂 2023年10月27日改訂